

令和6年度 第3回 相談員研修



様々な悩みや課題を有する子ども・若者への
相談業務に日々直接携っている方々を対象とした研修です。

行政機関職員・教職員・NPO職員など、
多くの方々のご参加をお待ちしています

「 カスタマーハラスメントの現状と対策 」

～理不尽なクレームに立ち向かうには～

講師: **池内 裕美**氏

(関西大学社会学部心理学専攻教授)

12月20日(金) 13:00～15:30

神奈川県立青少年センター3階 研修室1

定員:①会場 40名, ②オンライン 40名

※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

申込方法:電子申請システムによる申し込み受付

※お申し込みの際、参加形態(①, ②)について、
第一希望及び第二希望をご入力ください。

申込期間:11月12日(火)9:00～11月26日(火)12:00

当センターホームページよりお申し込みください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ch3/cnt/soudan/05_soudaninkensyu/index.html

かながわ子ども・若者総合相談センター 相談員研修

検索



お問い合わせ 神奈川県立青少年センター 青少年サポート課

電話 **045-263-4467**

※おかけ間違いのないようご注意ください。

講師紹介

池内 裕美 氏

関西大学社会学部心理学専攻教授

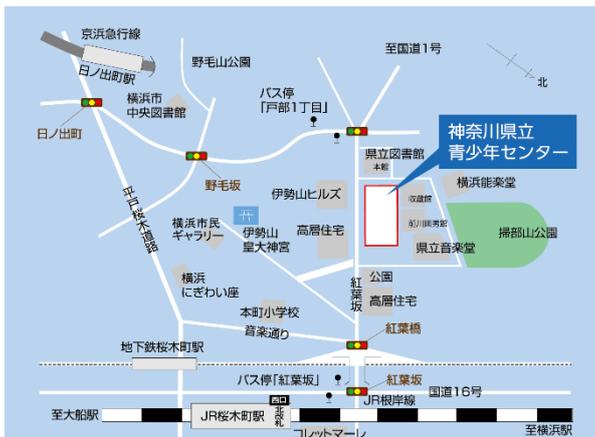
関西学院大学大学院商学研究科（博士課程前期課程）、同大学院社会学研究科（博士課程前期・後期課程）修了。博士（社会学）。広告デザイン会社勤務、日本学術振興会特別研究員（DC2・PD）を経て、2003年4月関西大学社会学部に専任講師として着任。2011年より現職。専門は社会心理学、消費心理学。現在の主な研究テーマは、過剰なクレームやモノのため込み、買物依存といった「逸脱的消費者行動」（消費者の問題行動）に関する心理的なメカニズムの解明で、メディアからコメントを求められることも多い。主な著書に『新版・暮らしの中の社会心理学』（分担執筆、ナカニシヤ出版、2024年）、『消費者行動の心理学：消費者と企業のよりよい関係性』（分担執筆、北大路書房、2019年）、『消費者心理学』（共編著、勁草書房、2018年）等があるほか、多数の論文を執筆。

対象

- ・ 県内の青少年相談センター等職員、青少年行政職員、ひきこもり支援関係職員、民生委員・児童委員、少年補導員、NPO等職員及び就労支援機関職員等の方々
- ・ 過度な要求等を行う対応困難な相談者に対しての対処・対策をお考えの方

地図・交通案内

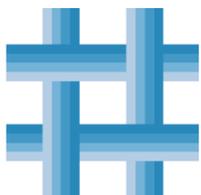
神奈川県立青少年センター（「かながわ子ども・若者総合相談センター」「神奈川県ひきこもり地域支援センター」）



- JR根岸線「桜木町駅」北改札西口より徒歩約8分
 - 横浜市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩約10分
 - 京浜急行線「日ノ出町駅」より徒歩約13分
 - 横浜市営バス103系統「戸部1丁目」下車、徒歩約2分
 - 横浜市営バス（8、26、58、89、105系統ほか）
「紅葉坂」下車、徒歩約4分
- ※公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

【留意事項】

- ・ 個人情報本事業以外に使用することはありません。
- ・ お申込み頂いた方以外の受講はご遠慮ください。
- ・ 音声録音や録画・写真撮影、及びそれらの音声データ・画像等のSNS等への掲載はご遠慮ください。
- ・ 来場者の皆様へ手指消毒のご協力をお願いしております。また、発熱や風邪症状のある方、体調のすぐれない方は参加をお控えください。



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県